

< 基本目標 1 > 外国人市民も安心して暮らせるまちの実現

└ 施策の柱 コミュニケーション支援の充実

└ 施策のテーマ 1 多言語等による情報提供の充実



施策№1	行政情報、各種申請書の多言語化
現 状	● 外国人のためのくらしの便利帳の発行、市のホームページの多言語化等による行政情報の提供や各種申請書等の翻訳を進めているが、アンケート結果等においても、さらなる多言語化の要望が多い。 ● 外国人市民の増加や定住化が進み、多言語化した行政情報、各種申請書の活用頻度が増えることが見込まれている。
これまでの主な取り組み	■ 外国人のためのくらしの便利帳、外国人向け情報誌「Ginkgo」 ■ 多言語ホームページによる休日医療機関情報、イベント情報等 ■ 自動翻訳システムによる市ホームページの多言語化 ■ 英語・中国語による休日診療やイベント情報等のメール配信サービス ■ 各種申請書、施設利用案内等行政パンフレット等の翻訳
施策概要	行政情報、各種申請書の翻訳を進め、多言語による情報提供の充実を図る。
所 管	全所管

施策№2	多言語による窓口対応、相談事業の充実
現 状	● 外国人市民の増加や定住化が進み、市役所窓口等に手続きや相談に来る外国人が増えている。 ● 電話による通訳サービスの導入に加え、多文化共生推進事業協力員（外国語を話すことができる職員）八王子国際協会の語学ボランティアが、市役所窓口等における外国人の案内や相談の通訳を行っている。
これまでの主な取り組み	■ 多文化共生推進事業協力員制度 ■ 市役所窓口での電話による通訳サービス ■ 多言語シートを用いた窓口対応 ■ 翻訳アプリを用いた窓口対応 ■ 八王子国際協会との通訳業務委託契約 ■ 在住外国人サポートデスク等、各種相談事業
事業概要	多文化共生推進事業協力員や八王子国際協会の語学ボランティアによる通訳のほか、多言語シートや ICT 技術等の活用により、多言語による窓口対応等の充実を図る。
所 管	全所管

推進する施策（案）

施策№3	語学ボランティア等の育成と活用
現 状	● 八王子国際協会の語学ボランティアの登録者数は、年々増加傾向にあり、多様な言語への対応も可能となっている。 ● 外国人市民や外国人観光客が増加傾向にあるほか、国際的なイベントなども開催されている。
これまでの主な取り組み	■ 語学ボランティアの登録制度 ■ 語学ボランティア研修 ■ 語学ボランティアによる、在住外国人サポートデスクでの相談業務 ■ おもてなし語学ボランティア育成講座
施策概要	市役所窓口や在住外国人サポートデスクのほか、東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会などの国際的なイベント等においても語学ボランティア等が活躍できるよう支援する。
所 管	多文化共生推進課

施策№4	案内表示等の多言語化
現 状	● 外国人市民や外国人観光客が増加傾向にあり、市の施設における案内表示等のさらなる多言語化が求められている。 ● 駅やまちなかの案内図等の多言語化は徐々に進んでいるが、対応地域の拡充が求められる。
これまでの主な取り組み	■ 市役所、事務所、スポーツ施設等、市の施設内における案内表示等の多言語化 ■ 八王子駅周辺や観光案内所の案内図等の多言語化
施策概要	市の施設や東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会に向けて多言語案内表示重点地区に指定された八王子駅周辺地域等の多言語案内表示の充実を図る。
所 管	関連所管

推進する施策（案）

施策№5	やさしい日本語の普及と活用
現 状	● 八王子市の在住外国人の国籍は 100 か国以上となっており、全ての外国人市民の母語の翻訳や通訳に対応することは困難になっている。 ● 外国人市民の定住化が進み、簡単な日本語での日常会話であれば意思の疎通が可能な外国人市民も増えている。 ● 一部の行政情報をやさしい日本語で提供しているが、やさしい日本語の認知度は低い。 ● 東京都は、東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会のレガシーになるよう、やさしい日本語の普及に取り組んでいる。
これまでの主な取り組み	■ 市民向けやさしい日本語講座 ■ 職員研修
施策概要	やさしい日本語の普及啓発に努めるとともに、マニュアルの作成及び職員研修等により、行政情報の提供や窓口対応等におけるやさしい日本語の活用を推進する。
所 管	全所管

< 基本目標 1 > 外国人市民も安心して暮らせるまちの実現

└ 施策の柱 コミュニケーション支援の充実

└ 施策のテーマ2 日本語学習支援



施策№6	日本語学習支援者の育成と活用
現 状	● 外国人市民の増加や定住化が進んでおり、日本語学習のニーズが高まっている。 ● 日本語ボランティア養成講座及びステップアップ講座を行っているが、各講座の参加者が、日本語学習支援者として活躍することが少ない。
これまでの主な取り組み	■ 日本語ボランティア養成講座 ■ 日本語ボランティア・ステップアップ講座
施策概要	日本語学習支援を実施するボランティア団体等と連携し、日本語学習支援者の育成及び活用機会の充実を図る。
所 管	多文化共生推進課

施策№7	外国人市民向け日本語学習機会の提供
現 状	● 外国人市民の増加や定住化が進んでおり、日本語学習のニーズが高まっている。 ● 市やボランティア団体が各種日本語学習教室を開催しているが、開催場所や日時が限られており、利用できない外国人市民もいる。 ● 東京都が都内で開催されている日本語学習教室の情報を提供している。
これまでの主な取り組み	■ 市による外国人のための日本語学習教室 ■ ボランティア団体による日本語学習教室
施策概要	市内で開催する各種日本語学習教室の場所や日時等を配慮し、外国人市民が学びやすい環境を整備するほか、市内外問わず日本語学習教室の情報提供の充実を図る。
所 管	学習支援課、多文化共生推進課

< 基本目標 1 > 外国人市民も安心して暮らせるまちの実現

└ 施策の柱 コミュニケーション支援の充実

└ 施策のテーマ 3 外国人市民の社会参加



施策№8	外国人市民のネットワーク活性化
現 状	● フェイスブック上に 6 言語のグループを構築しているが、参加者数の増加等による活性化が必要である。 ● 各グループに提供する情報の充実が必要である。 ● 市では現状把握はできていないが、教会やモスク、飲食店等集まる外国人コミュニティがいくつか存在している。
これまでの主な取組み	■ フェイスブックを活用した、6 言語のグループの運営 ■ フェイスブック上のグループへの参加を促すためのイベントの実施 ■ 地球市民プラザ会議室の運営
施策概要	八王子国際協会が外国人、日本人市民のコミュニケーションの場としても機能するよう周知するとともに、イベントの実施、情報提供の充実、キーパーソンの育成等によるネットワークの活性化を図る。
所 管	多文化共生推進課

施策№9	外国人市民の社会参加の支援
現 状	● 外国人市民の定住化傾向をかんがみ、従来の生活支援にとどまらず、日本人市民とともに活躍できるよう、社会参加を促進する必要がある。 ● 外国人市民が平成 29 年度八王子いちようまつりで実行委員長を務めたなども実績もある。 ● 東京都は、「日本人と外国人がともに活躍できる環境の整備」を目標に掲げている。
これまでの主な取組み	■ 国際交流フェスティバル ■ 語学講座講師、世界の人とふれあいタイムでのゲストスピーカー ■ 小中学校における国際理解教育のゲストティーチャー
施策概要	外国人市民の能力を活かしたボランティア等社会活動への参加を促進するとともに、外国人市民が日本人市民とともに主体的に社会参加できる環境を整備する。
所 管	多文化共生推進課

推進する施策（案）

施策№10	外国人市民の町会・自治会等への加入促進
現 状	● 外国人市民の定住化が進み、地域で日本人市民とともに活躍できるよう、地域参加を促進することが求められている。 ● 町会・自治会への加入率は減少している。 ● 外国人市民へのアンケートでは、生活に関する情報を町会・自治会等から得ている外国人市民が少ない。
これまでの主な取り組み	■ 町会・自治会への加入案内の多言語化 ■ 地域の防災訓練への参加
施策概要	町会・自治会等に関する情報の多言語化を進めるほか、町会・自治会等が開催するイベントに外国人市民が参加できる機会を提供し、町会・自治会への理解を深めることで、加入促進を図る。
所 管	協働推進課

< 基本目標 1 > 外国人市民も安心して暮らせるまちの実現

└ 施策の柱 生活支援の充実

└ 施策のテーマ 1 教育



施策№1 1	外国籍等児童生徒等への情報提供
現 状	● 外国人市民へのアンケートでは、多言語による通知を求める回答が多い。 ● 外国籍等児童生徒やその保護者への案内等は、多言語化されているが、まだ一部にとどまっている。
これまでの主な取り組み	■ 定型的な通知の多言語化 ■ 外国人児童生徒のための就学ガイドブック ■ 広報はちおうじ、外国人向け情報誌「Ginkgo」等を活用した就学案内や就学支援制度の周知
施策概要	文部科学省が提供している「帰国・外国人児童生徒教育のための情報検索サイト（かすたねっと）」等を活用し、外国籍等児童生徒等への多言語による情報提供を図る。
所 管	指導課、教育支援課

施策№1 2	外国籍等児童生徒への日本語による学習支援
現 状	● 日本語の習得が不十分な外国籍等児童生徒に対して、日本語学級の設置、就学時支援者の派遣、日本語巡回指導等による支援を行っている。 ● 学外にて八王子国際協会、世界の子どもと手をつなぐ学生の会による学習支援が実施されている。
これまでの主な取り組み	■ 日本語学級（第六小・打越中）、外国籍等児童生徒就学時支援者、日本語巡回指導 ■ 八王子国際協会による学習支援教室 ■ 世界の子どもと手をつなぐ学生の会（CSS）による学習支援
施策概要	外国籍等児童生徒が学校生活に適應できるよう、市及び教育委員会、ボランティア団体等が連携し、日本語による学習支援の充実を図る。
所 管	教育支援課、指導課、多文化共生推進課

推進する施策（案）

施策№13	不就学の外国籍児童生徒等への対応
現 状	● 不就学の外国籍児童生徒等への通知を多言語で送付している。 ● 学齢期に達している不就学の外国籍児童生徒等への就学案内・支援制度等については、広報はちおうじや外国人向け情報誌等で周知している。
これまでの主な取り組み	■ 就学案内等の多言語化 ■ 広報はちおうじ、外国人向け情報誌「Ginkgo」等を活用した就学案内・支援制度の周知
施策概要	多言語化した就学案内等を活用し、不就学の外国籍児童生徒とその保護者への情報提供の充実を図る。
所 管	教育支援課、多文化共生推進課

施策№14	外国籍等児童生徒等の進路指導の充実
現 状	● 外国人市民の増加や定住化が進んでおり、日本での進学等を希望する外国籍等児童生徒も増えている。 ● 進路指導者が外国籍等児童生徒やその保護者と円滑なコミュニケーションを図ることができないことがある。
これまでの主な取り組み	■ 高校進学ガイダンス ■ 八王子国際協会による学習支援教室
施策概要	進学等に関する情報の多言語化や高校進学ガイダンス等による進路指導の充実を図る。
所 管	指導課、多文化共生推進課

< 基本目標 1 > 外国人市民も安心して暮らせるまちの実現

└ 施策の柱 生活支援の充実

└ 施策のテーマ 2 医療・福祉



施策№15	多言語で対応できる医療機関の情報提供
現 状	● 外国人市民や外国人観光客が増加傾向にあり、医療機関を利用する外国人が増えている。 ● 外国人市民へのアンケートでは、多言語で対応できる医療機関の情報や相談体制を求める回答が多い。
これまでの主な取り組み	■ 東京都医療機関案内サービス“ひまわり”の案内 ■ 多言語ホームページ、メール配信サービスによる休日医療機関情報 ■ 多言語医療問診票の配付
施策概要	多言語対応可能な医療機関のリストを作成し、外国人市民が自ら適切な医療機関を選択できる体制を構築する。
所 管	地域医療政策課、多文化共生推進課

施策№16	外国人にもわかりやすい医療・福祉情報の充実
現 状	● 外国人市民や外国人観光客が増加傾向にあり、医療機関を利用する外国人が増えている。 ● 外国人市民の定住化が進み、簡単な日本語での日常会話であれば意思の疎通が可能な外国人市民も増えている。 ● 外国人市民へのアンケートでは、多言語で対応できる医療機関の情報や相談体制を求める回答が多い。
これまでの主な取り組み	■ 英語・中国語による休日診療等のメール配信サービス ■ 介護保険、予防接種通知等の各種通知の多言語での配布 ■ 多言語版母子健康手帳の配布 ■ 多言語版子育てガイドブックの作成 ■ 多言語医療問診票の配付
施策概要	医療・福祉制度に関する情報の多言語化ややさしい日本語の活用を促進し、情報提供、窓口対応の充実を図る。
所 管	関連所管

推進する施策（案）

施策№17	外国人患者への多言語対応の充実
現 状	● 外国人市民や外国人観光客が増加傾向にあり、医療機関を利用する外国人患者が増えている。 ● 外国人市民へのアンケートでは、診察や検診時での医師等とのコミュニケーションに困るという回答が多い。 ● 東京都は東京都医療機関案内サービス「ひまわり」にて多言語対応の病院を紹介している。
これまでの主な取り組み	■ 八王子国際協会が医療ボランティア委員会を設置 ■ 医療通訳ボランティアへのフォローアップ研修 ■ 東京都等への広域医療通訳ボランティア派遣制度構築の要望 ■ 多言語医療問診票のホームページ掲載、外国人のためのくらしの便利帳での周知
施策概要	医療通訳ボランティアへの研修やICT等の活用により、多言語対応の充実に図る。
所 管	地域医療政策課、多文化共生推進課

< 基本目標 1 > 外国人市民も安心して暮らせるまちの実現

└ 施策の柱 生活支援の充実

└ 施策のテーマ 3 住居



施策№18	多言語による暮らしに関する情報の充実
現 状	● 外国人市民の増加や定住化が進み、多言語化した暮らしに関する情報の活用頻度が増えることが見込まれる。 ● 外国人市民へのアンケートでは、多言語による地域のルールブック等を求める回答が多い。
これまでの主な取り組み	■ 外国人のためのくらしの便利帳 ■ 「家庭用ごみ・資源物収集カレンダー補助冊子」等の多言語化
施策概要	生活上のルールや住居に関する基礎知識等の情報を多言語化するとともに、関係機関等と連携して外国人市民への効率的な周知を図る。
所 管	関連所管

施策№19	外国人市民への入居差別の解消、居住支援
現 状	● 外国人市民へのアンケートでは、入居差別を受けたことがあるという回答がある。 ● 外国人市民へのアンケートでは、住居に関する相談体制や入居時の代行保証制度の充実を求める回答が多い。 ● 住宅確保要配慮者の民間住宅への円滑な入居を促進するため、不動産関係団体、住居支援団体等と連携し、八王子市居住支援協議会を設置、運営している。
これまでの主な取り組み	■ 外国人留学生住居賃貸代行保証料補助金制度 ■ 八王子市居住支援協議会による入居支援 ■ 住宅確保要配慮者の入居を拒まない賃貸住宅の登録
施策概要	外国人市民が円滑に民間賃貸住宅に入居できる環境を整備するため、入居を拒まない住宅の確保に取り組むとともに、入居の受入れに当たり賃貸人が抱く不安を解消するための入居支援を行う。
所 管	住宅政策課、多文化共生推進課

< 基本目標 1 > 外国人市民も安心して暮らせるまちの実現

└ 施策の柱 生活支援の充実

└ 施策のテーマ 4 就労



施策№20	外国人市民の就職・就業環境の改善
現 状	● 外国人市民の増加や定住化が進んでおり、日本での就職等を希望する外国人市民も増えている。 ● 外国人市民へのアンケートでは、外国人だから働くことを断られるという回答があるほか、外国人が働く環境を良くすることが必要という回答が多い。
これまでの主な取り組み	■ 外国人雇用及び就業環境をテーマにした講演会 ■ 留学生のための就職支援セミナー ■ 留学生のための企業めぐり
施策概要	事業者や関係機関と連携し、就職支援セミナー等の開催や外国人市民を採用した企業への支援等により、就職・就業環境の改善を図る。
所 管	産業政策課、企業支援課、防犯課、多文化共生推進課

施策№21	外国人就業者とその家族の支援
現 状	● 外国人市民の増加や定住化が進んでおり、市内で働く外国人市民とその家族は増えている。 ● 外国人就業者は、家族が日本になじめないなど、雇用者だけではフォローしきれない問題で退職してしまうことがある。 ● 外国人市民へのアンケートでは、外国人が就職後の悩みを相談できる窓口を希望する意見がある。
これまでの主な取り組み	■ 在住外国人サポートデスクでの生活相談 ■ フェイスブックを活用した、6 言語のグループの構築
施策概要	在住外国人サポートデスク等の相談窓口の充実を図るほか、関係機関等と連携し、就業者とその家族を支援する。
所 管	産業政策課、企業支援課、多文化共生推進課

< 基本目標 1 > 外国人市民も安心して暮らせるまちの実現

└ 施策の柱 生活支援の充実

└ 施策のテーマ 5 防災



施策№22	災害時のわかりやすい情報提供
現 状	● 外国人市民へのアンケートでは、災害時の対応がわからないという回答が多い。 ● 八王子市の在住外国人の国籍は 100 か国以上となっており、災害が少ない国の出身の外国人市民もいる。
これまでの主な取り組み	■ 八王子国際協会が防災・災害対応委員会の設置 ■ 多言語版の防災マップ、災害ヘルプカードの作成 ■ 外国語版防災ガイドの作成（7 言語）
施策概要	関係機関と連携し、災害時の情報提供方法の多様化や内容の多言語化を進めるとともに、やさしい日本語を活用した防災情報の提供を図る。
所 管	防災課、広報課、多文化共生推進課

施策№23	外国人市民への防災・災害対応に関する意識の啓発
現 状	● 外国人市民の出身国籍は 100 か国以上となっており、災害が少ない国の出身の外国人市民も多く、災害に関する知識が不足していることが予想できる。 ● 防災訓練に参加する機会が少ない。
これまでの主な取り組み	■ 八王子市総合防災訓練への外国人市民の参加 ■ 町会・自治会・市民センター等の防災訓練への外国人市民の参加 ■ 立川防災館等を利用した外国人市民向け防災訓練の実施
施策概要	新たに多言語版防災マニュアルを作成するほか、各種防災訓練への参加を促進し、防災・災害対応に関する知識を学ぶ機会の充実を図る。
所 管	防災課、多文化共生推進課

推進する施策（案）

施策№ 2 4	災害時における外国人支援の仕組みの整備
現 状	● 災害時に外国人を支援する避難所として指定している市民センターと連携して、避難所開設訓練を実施している。 ● 災害時における外国人支援の仕組みは整備されたが、外国人支援訓練等による検証が必要である。
これまでの主な取り組み	■ 八王子国際協会内に防災・災害対応委員会の設置 ■ 災害時外国人支援マニュアルの策定 ■ 市民センターにおける外国人支援訓練
施策概要	災害時外国人支援マニュアルの見直し等、外国人支援の仕組みの検証および再整備を検討する。
所 管	防災課、協働推進課、多文化共生推進課

施策№ 2 5	災害時の通訳ボランティアの育成・支援
現 状	● 災害時通訳ボランティアに対する研修を実施している。 ● 外国人市民や外国人観光客が増加傾向にあり、災害時における通訳ボランティアによる支援の必要性は高まっている。
これまでの主な取り組み	■ 防災・災害対応委員会の設置 ■ 災害時外国人支援マニュアルの策定 ■ 災害時通訳ボランティア ■ 災害時通訳ボランティアの避難所開設訓練への参加
施策概要	外国人留学生などにもボランティアの登録を働きかけるとともに、登録者を対象とした研修等によるスキルアップを図る。
所 管	多文化共生推進課

< 基本目標 1 > 外国人市民も安心して暮らせるまちの実現

└ 施策の柱 生活支援の充実

└ 施策のテーマ 6 外国人留学生



施策№ 2 6	外国人留学生への生活支援
現 状	● 市内における外国人留学生数は、国の「留学生 30 万人計画」や各大学等の留学生受け入れ計画等により増加傾向にある。 ● 「大学コンソーシアム八王子加盟校への八王子市との連携ニーズ調査」（2016 年（平成 28 年）度）において、外国人留学生の生活支援のニーズが高い。
これまでの主な取り組み	■ 外国人留学生奨学金制度 ■ 外国人留学生住居賃貸代行保証料補助金制度 ■ 在住外国人サポートデスク ■ SNS（ソーシャル・ネットワーキング・サービス）による情報提供
施策概要	在住外国人サポートデスクの利用促進や大学等担当者間の情報共有の充実など、大学コンソーシアム八王子や関係機関と連携し、外国人留学生への生活支援の充実を図る。
所 管	学園都市文化課、多文化共生推進課

施策№ 2 7	外国人留学生への就職支援
現 状	● 独立行政法人日本学生支援機構の調査によると、私費留学生の卒業後の進路希望は「日本において就職希望」が 65%であるが、平成 25 年（2013 年）度の留学生全体の進路のうち、日本国内で就職した者は約 25%であり、留学生の希望と現実とに乖離がある。 ● 「大学コンソーシアム八王子加盟校への八王子市との連携ニーズ調査」（2016 年（平成 28 年）度）において、留学生の進路支援のニーズが高い。 ● 外国人留学生の市内企業への就職のニーズ及び市内企業の外国人留学生の雇用のニーズが把握できていない。
これまでの主な取り組み	■ 留学生のための就職支援セミナー ■ 留学生のための企業めぐり
施策概要	大学コンソーシアム八王子や関係機関との連携により、外国人留学生及び市内企業のニーズを把握し、市内での就職を希望する外国人留学生の就職を支援する。
所 管	学園都市文化課、産業政策課、多文化共生推進課

推進する施策（案）

施策№28	外国人留学生の能力を活用した地域活性化	新規
現 状	● 市内における外国人留学生数は、国の「留学生 30 万人計画」や各大学等の留学生受け入れ計画等により増加傾向にある。 ● 市政世論調査では、「学生による地域の活性化への貢献」を期待する市民の割合が多い。 ● 外国人観光客の増加に伴い、外国人留学生が語学能力等を生かす機会が増えている。 ● 東京都は、「日本人と外国人がともに活躍できる環境の整備」を目標に掲げている。	
これまでの主な取り組み	■ 外国人留学生奨学金受給者による地域貢献活動 ■ 観光案内所での外国人留学生による語学ボランティア ■ 世界の人とふれあいタイムでのゲストスピーカー ■ 小中学校における国際理解教育のゲストティーチャー	
施策概要	外国人留学生ならではの視点や能力を活かし、地域活性化につながる活動ができるよう支援する。	
所 管	学園都市文化課、多文化共生推進課	

施策№29	日本語学校に所属する外国人留学生の支援	新規
現 状	● 市内には、大学等への進学をめざす外国人留学生を対象とした日本語学校があるが、そこに所属する留学生の実態を把握できていない。 ● 市内の日本語学校に在籍する学生数は増加傾向にある。	
これまでの主な取り組み	■ 市内の日本語学校へのヒアリング	
施策概要	日本語学校に所属する留学生へアンケート調査を実施するなどにより実態を把握し、支援策等を検討する。	
所 管	多文化共生推進課	

< 基本目標 2 > 国際感覚豊かな市民を育むまちの実現

└ 施策の柱 多文化共生意識の啓発、国際理解・国際交流の推進

└ 施策のテーマ 1 多文化共生意識の啓発



施策№30	多文化共生意識啓発に関する事業の実施
現 状	● 市政モニターアンケートによると、「多文化共生」という言葉を知っている市民が少ない。 ● 市政モニターアンケートによると、以前と比べて国際感覚が豊かになったと感じている市民は少ない。 ● 多文化共生社会の実現には、日本人市民の多文化共生意識を啓発する必要がある。 ● 外国人市民が増えることに不安を感じる人がいる。
これまでの主な取り組み	■ 国際交流フェスティバル ■ 多文化共生講演会・ワークショップ
施策概要	多文化共生をテーマにした講演会、ワークショップや国際交流フェスティバルなどのイベント等を開催し、日本人市民の多文化共生意識の高揚を図る。
所 管	多文化共生推進課

施策№31	多文化共生を推進する人材の育成
現 状	● 市政モニターアンケートによると、「多文化共生」という言葉を知っている市民が少ない。 ● 多文化共生のまちづくりを進めていくうえで、多文化共生を推進していく人材が求められている。
これまでの主な取り組み	■ 多文化共生講演会・ワークショップ ■ フェイスブックを活用した、6言語のグループの構築・運営 ■ 日本語学習ボランティア養成講座 ■ おもてなし語学ボランティア育成講座
施策概要	ワークショップ等を企画し、多文化共生を推進する人材を育成するとともに、外国人・日本人市民が主体的に活動を行える環境を整備する。
所 管	多文化共生推進課

推進する施策（案）

施策№32	多文化共生意識啓発期間の設定	新規
現 状	● 市政モニターアンケートによると、「多文化共生」という言葉を知っている市民は少ない。 ● 東京都や他市においても多文化共生意識を啓発するイベントは行われている。	
これまでの主な取組み	なし	
施策概要	多文化共生意識への理解を深めるため、多文化共生意識を啓発する期間を設定し、イベントの集中実施、ポスター掲示などを行う。	
所 管	多文化共生推進課	

< 基本目標 2 > 国際感覚豊かな市民を育むまちの実現

└ 施策の柱 多文化共生意識の啓発、国際理解・国際交流の推進

└ 施策のテーマ 2 国際理解・国際協力



施策№33	国際理解の推進
現 状	● 市政モニターアンケートによると、以前と比べて国際感覚が豊かになったと感じている市民は少ない。 ● 東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会に向けて、すべての小中学校において、オリンピック・パラリンピック教育が行われている。 ● 市内小中学校の教員に対し、国際理解教育に関するアンケート調査を実施し、小中学生向け国際理解教育プログラムを作成している。
これまでの主な取り組み	■ 世界の人とのふれあいタイム ■ 国際交流フェスティバル ■ 小中学校教員を対象とした国際理解教育研修 ■ 小中学生向け国際理解教育プログラムの作成 ■ 外国人外国語等学習指導助手配置事業
施策概要	オリンピック・パラリンピック教育や国際理解教育の実施に加え、世界の文化に触れる機会を創出し、国際理解の推進を図る。
所 管	指導課、学習支援課、学園都市文化課、多文化共生推進課

施策№34	国際協力団体等との連携による国際協力及び啓発
現 状	● 国際理解を深めるうえで、国際協力活動や開発途上国の現状を知ることができる機会が必要である。 ● 毎年、青年海外協力隊及びシニア海外協力隊として国際協力活動に参加する市民が多数いる。
これまでの主な取り組み	■ JICA（国際協力機構）の「草の根技術協力事業」を活用した発展途上国のごみ問題改善 ■ フェアトレード（ ）商品の購入など人、社会、環境などに配慮した倫理的（エシカル）消費の啓発 フェアトレード...発展途上国の製品等を適正な価格で購入することで、発展途上国の生産者や労働者の生活改善や自立を促す仕組み
施策概要	国際協力団体や大学等と連携し、開発途上国等を支援するとともに、国際協力活動や倫理的（エシカル）消費の啓発活動等の周知を図る。
所 管	ごみ減量対策課、消費生活センター、多文化共生推進課

<基本目標 2> 国際感覚豊かな市民を育むまちの実現

施策の柱 多文化共生意識の啓発、国際理解・国際交流の推進

施策のテーマ3 外国人観光客等へのおもてなし

施策№35	外国人観光客等への観光案内
現 状	●東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会に向け、外国人観光客の増加が見込まれている。 ●高尾山は、ミシュラン社のガイドブックで最高評価の三ツ星を獲得しており、多くの外国人観光客が訪れている。
これまでの主な取り組み	■観光パンフレット等の多言語化、観光ガイドボランティア ■市内 3 か所（八王子駅北口、南口、高尾山口駅）に設置されている観光インフォメーションセンターにおける多言語対応 ■観光 PR 扇子や多言語リーフレットからの多言語 web への誘導 ■公益財団法人東京観光財団との連携 ■タブレット等を使用した翻訳アプリの導入 ■中心市街地おもてなし通信環境の整備 ■広域連携を活用したモニターツアーによる基礎的市場調査 ■あきる野市、大月市等の近隣自治体との広域連携による観光客誘致
施策概要	関係機関と連携し、海外への PR、多言語による観光情報等を充実するとともに、外国人市民や外国人留学生、語学ボランティア等を活用した観光案内の体制を構築する。
所 管	観光課、中心市街地政策課、産業政策課

施策№36	おもてなしマインドの推進	新規
現 状	●外国人観光客の増加に伴い、外国人との交流の機会が増えている。 ●市政モニターアンケートによると、以前と比べて国際感覚が豊かになったと感じている市民は少ない。 ●多文化共生社会の実現には、日本人市民の多文化共生意識を啓発していく必要がある。	
これまでの主な取り組み	■中心市街地おもてなし通信環境の整備 ■おもてなし語学ボランティア育成講座	
施策概要	観光施設や商店街等における外国人観光客対応を支援し、外国人観光客へのおもてなしマインドを推進する。	
所 管	観光課、産業政策課、中心市街地政策課、多文化共生推進課	

推進する施策（案）

施策№37	国際的なビジネスイベントへの対応	新規
現 状	●平成33年（2021年）に国際的なビジネスイベントに対応可能なコンベンション施設を含む東京都の産業交流拠点が開設される予定となっている。 ●平成29年7月から東京都の多摩ビジネスイベント重点支援エリアに指定されている。 ●平成29年4月に（公社）八王子観光協会と八王子 MICE 都市推進センター準備室の両機能を統合した（公社）八王子観光コンベンション協会を設立し、新たな観光事業及び MICE 誘致事業を実施している。 MICE（＝Meeting、Incentive、Convention、Exhibition / Event） 多くの集客交流が見込まれるビジネスイベント等の総称 Meeting 企業等の会議 Incentive 企業等の行う報奨・研修旅行 Convention 国際機関・団体、学生等が行う国際会議 Exhibition/Event 展示会・見本市、イベント	
これまでの主な取り組み	■八王子 MICE 都市推進センター活動計画基本構想、実施計画を策定 ■（公社）八王子観光コンベンション協会による大学等への MICE 誘致活動。 ■ビジネスイベントやスポーツの誘致に向けたコンベンション施策ガイド等の作成	
施策概要	国際的なビジネスイベント等の受入れに必要な事業者間の連携体制を構築する。	
所 管	産業政策課、観光課	

< 基本目標 2 > 国際感覚豊かな市民を育むまちの実現

└ 施策の柱 多文化共生意識の啓発、国際理解・国際交流の推進

└ 施策のテーマ 4 海外友好交流都市等との交流



施策№ 3 8	海外友好交流都市との交流
現 状	● 市制施行 90 周年記念事業として平成 18 年（2006 年）に中国・泰安市、台湾・高雄市、韓国・始興市と海外友好交流協定を締結以降、徐々に交流が活発になっている。 ● 市制施行 100 周年記念事業として、平成 29 年（2017 年）にドイツ・ヴリーツェン市と友好交流協定を締結した。
これまでの主な取り組み	■ 海外交流支援デスク ■ 海外友好交流事業補助金制度 ■ 海外友好交流都市写真展 ■ パフォーマンス団の相互派遣 ■ 海外友好交流都市への観光ツアー
施策概要	海外友好交流都市に関連したイベントを通じて各都市の魅力を周知するとともに、各都市との活発な交流を促進する。
所 管	関連所管

施策№ 3 9	青少年による文化・スポーツ等の海外交流事業の推進
現 状	● 青少年が異文化体験を通して国際的な感覚を身につけるため、海外都市と交流事業を行っている。
これまでの主な取り組み	■ 青少年海外交流事業 ■ 読書感想文・感想画コンクール上位入賞者の台湾・高雄市派遣 ■ 看護専門学校による高雄市への研修旅行
施策概要	海外都市とのスポーツ、文化、音楽等の青少年交流事業を継続して行っていくほか、インターネット等の活用により、多種多様な交流事業を推進する。
所 管	関連所管

推進する施策（案）

施策№ 4 0	市民・民間団体等の海外交流事業の支援
現 状	● 市民団体や民間団体が主体となる海外交流事業が行われている。 ● 市内中小企業にも経済のグローバル化による産業構造の変化の影響がある。
これまでの主な取り組み	■ 市内中小企業と台湾企業との経済交流を促進するため、台湾の市場調査、商談会及び展示会への出展を支援
施策概要	市民団体や民間企業を対象に、経済、文化、スポーツなど様々な分野での海外交流を継続的に支援する。
所 管	関連所管